

それはかつて日本で起こった出来事
未来に残すべき真実がここに！

空襲と疎開

東京から関川村・村上町へ

村上高校卒業生

杉本孝一郎氏講演会

2025年2月1日(土)開催

敵機は江戸川の上空を飛んでいました。川筋を目印に鹿島灘あたりで待つ航空母艦に帰還する途中だったのかもしれませんが。雪雲の中を潜むように低空飛行をしていたのですが、やがて私たちの姿を発見したのでしょう。高度を一気に10メートルくらいまで下げて機銃掃射を浴びせてきました。操縦士の笑っている顔が私にははっきり見えました。私は二人の妹の手をぎゅっと握り、泣きながら逃げました。

人生の意味を深く思い悩んだ日々の中で、高校の弁論大会は私にささやかな希望と自信を与えてくれました。夜間部の弁論部に入って何度か挑戦したのち、卒業の年の1954年の大会で優勝したのです。大会6回目で夜間部の生徒が優勝したのは初めてでした。テーマは「誠実に生きる悩み」でした。このときから私はこれまでの人生を受け入れ、肯定するようになったのです。



すぎもと・こういちろう●1932年1月27日、東京都京橋区(現・中央区)生まれ。1945年2月、空襲の悪化に伴い、新潟県長岡市へ。その後、弟が疎開していた関川村、そして岩船郡村上町(現・村上市)に身を寄せる。1955年3月、村上高校を卒業。現在は埼玉県所沢市在住。地元の児童の登校を見守る“見守り隊”活動や、所沢市主催の「平和を語る会」での“語り部”活動を続けている。



杉本孝一郎氏の体験談は戦争体験者手記集「境界 BORDER vol.4」(ユニコ舎刊)に収録されています。定価は1,980円ですが、当日は講演会記念の特価1,800円で販売します。

開催日時 2025年2月1日(土)
13:00～14:30 (講演会+質疑応答)
開場は講演開始の30分前となります。

参加費 1,000円
会場 東京新潟県人会館 (2階ホール)
〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6
東京メトロ千代田線「湯島駅」6番出口から徒歩1分

主催 村上高校同窓会関東支部
協力 東京村上市郷友会 株式会社ユニコ舎



※状況によって中止・延期になる場合があります。予めご了承ください。